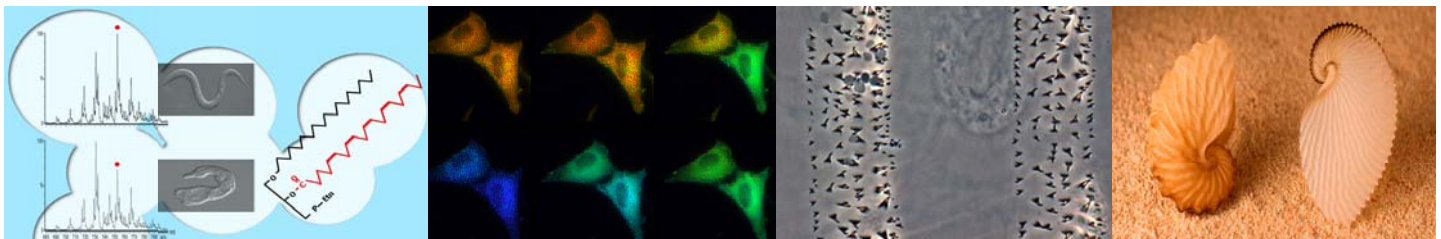


さきがけ2領域 公開合同シンポジウム 2010 東京
「代謝と機能制御」&「RNAと生体機能」

さきがけ研究は、各領域の戦略目標に基づいてイノベーションを探求し、未来への展開の芽を育む個人型研究です。ライフサイエンスの分野では、先端的医療技術や画期的な疾患治療薬等を目指して、ゲノム情報を活用しつつ多方面にわたって基礎と応用のための研究が進行しています。この合同シンポジウムでは、13日に「代謝と機能制御」領域の3期研究者10名、14日に「RNAと生体機能」領域の2期研究者9名が、研究期間の最終年度にあたって、研究成果を発表いたします。是非、ご参加いただきますようご案内いたします。

「代謝と機能制御」 研究総括 西島 正弘
 「RNAと生体機能」 研究総括 野本 明男



日 時：平成22年12月13日(月)～14日(火)
 会 場：東京大学弥生講堂・一条ホール (文京区弥生1-1-1)
 参加費：無料 (交流会：2500円、12月13日 17:30～)
 プログラム：裏面
 主 催：独立行政法人 科学技術振興機構



参加申込の方法

次の各領域ホームページ(HP)からお申込みいただくか、あるいは、下記の申込書に記入の上、FAXをお願いします。

(申込書) 「代謝と機能制御」 HP: <http://www.metabolism.jst.go.jp/sympo/index.html> FAX: 075-212-2043
 「RNAと生体機能」 HP: <http://www.rna.jst.go.jp/sympo/index.html> FAX: 03-3222-2063

| | | | |
|-------|--|-------------|---|
| フリガナ | | 所 属 | |
| 氏 名 | | 住 所 | |
| 電話番号 | - - | メール アドレス | @ |
| 参 加 日 | 参加日に○印を → ・ 12月13日(代謝と機能制御) ・ 12月14日(RNAと生体機能) | | |
| 交流会出欠 | 出欠に○印を → 12月13日交流会に ・出席 ・欠席 | | |

さきがけ2領域 公開合同シンポジウム 2010 東京

12月13日 (月)

「代謝と機能制御」

第3回研究報告会 ー 東京大学弥生講堂・一条ホール ー

12月14日 (火)

「RNAと生体機能」

第2回研究報告会

| | | | |
|-------|--|-------|---|
| 10:00 | 開会にあたって 西島 正弘 (研究総括) | 10:00 | 開会にあたって 野本 明男 (研究総括) |
| | セッション1 座長:木下 タロウ(大阪大学 教授) | | テーマ1「RNAの品質」 座長:永田 恭介(筑波大学 教授) |
| 10:10 | 老化シグナルにより制御される代謝ネットワークの 解明 (千葉大学 南野 徹) | 10:10 | 生体のmRNA監視機構の解明とその応用 (横浜市立大学 山下 暁朗) |
| 10:35 | 癌浸潤転移における細胞膜脂質代謝及びドメイン構造 の機能解析 (国立がん研究センター 山口 英樹) | 10:35 | リボソームRNAの品質を保証するしくみ (京都大学 北島 真) |
| 11:00 | 細胞の極性形成に関わる膜ドメインの形成・維持機構 の解明 (京都大学 池ノ内 順一) | 11:00 | 細胞は細胞質の機能性RNAの品質をどのように保って いるか (名古屋大学 吉久 徹) |
| 11:25 | オルガネラのpHによるタンパク質輸送の制御 (大阪大学 前田 裕輔) | 11:25 | 招請講演 構造生物学に基づくtRNAの転写後修飾 メカニズムの分子基盤解明 (産業技術総合研究所 沼田 倫征) |
| | 昼食 | | 昼食 |
| | セッション2 座長:寒川 賢治(国立循環器病研究センター 研究所 所長) | | 特別講演 座長:野本 明男 (研究総括) |
| 12:50 | 特別講演 細胞内リサイクルシステムー新陳代謝の科学ー (東京都臨床医学総合研究所 田中 啓二 所長代行) | 13:00 | RNA修飾が関与する生命現象へのアプローチ (東京大学 鈴木 勉 教授) |
| 13:30 | 細胞内の蛋白質代謝を管理するストレス応答機構の 解明 (科学技術振興機構 岩脇 隆夫) | | テーマ2「RNAの機能発現」 座長:松藤 千弥(東京慈恵会医科大学 教授) |
| 13:55 | 新規蛋白質NMLによるATP代謝制御ネットワークの 解明 (筑波大学 村山 明子) | 14:00 | 植物のRNA干渉導入のしくみ (農業生物資源研究所 吉川 学) |
| 14:20 | 蛍光ATPプローブを用いたATP代謝の解析 (科学技術振興機構 今村 博臣) | 14:25 | タンパク質とRNAの共同作業による染色体機能の制御 (筑波大学 奥脇 暢) |
| | 休憩 | 14:50 | RNA干渉に必須の2本鎖RNAを造る合成酵素をヒトで 発見 (国立がん研究センター 増富 健吉) |
| | セッション3 座長:鈴木 明身(東海大学 教授) | | 休憩 |
| 15:05 | オーキシン調節による植物の成長制御機構の解明 (新潟大学 酒井 達也) | | テーマ3「RNA・ウイルス研究の展開」 座長:伊庭 英夫(東京大学医科学研究所 教授) |
| 15:30 | ブラスノステロイド情報伝達による発生と自然免疫制御 の分子機構 (理化学研究所 中野 雄司) | 15:35 | 細胞内で持続的に高発現し、且つ除去も可能なRNA ゲノムの開発と応用 (科学技術振興機構 西村 健) |
| 15:55 | 「骨代謝」における破骨細胞の細胞融合と代謝制御 (慶應義塾大学 宮本 健史) | 16:00 | 細胞がウイルス感染(非自己RNA)を認識するしくみ (千葉大学 米山 光俊) |
| 16:20 | 代謝-RNA講演 機能性RNAによる代謝調節の 分子基盤の解析 (東北大学 稲田 利文) | 16:25 | 核酸の鋳型をもちいないでRNAを合成するしくみ (産業技術総合研究所 富田 耕造) |
| 16:50 | 結びの挨拶 1 西島 正弘 (研究総括) 2 科学技術振興機構 | 16:50 | 結びの挨拶 科学技術振興機構 |
| 17:30 | 交流会 | | |